



かるが毛便い

冬号
86号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会 代表 兼 編集者：下河秀行

デザイン・構成：西森由紀子

今号の
記事内容

- 1面：石神井公園駅前の再開発事業始まる
 2面：知られざる練馬の歴史シリーズ⑯ 葛城明彦氏
 3面：練馬の美術シリーズ ちひろ美術館
 4面：石神井のまちづくりで、新春紙上座談会

- 5面：石神井のまちづくりで、新春紙上座談会
 6面：練馬のSDGsシリーズ 練馬区立勤労福祉会館 館長に聞く
 7面：練馬の活動団体紹介 その② NPO 成年後見のぞみ会
 8面：シニアライフ講座、シャンソン発表会、ジャズ発表会

～石神井のまちづくりで駅前再開発事業具体化～

石神井公園駅南口西地区で解体工事が令和6年2月始まる

まちづくりは2000年から始まる

平成12(2000)年9月練馬区都市整備部が立ち上げた【石神井公園駅周辺地域まちづくり協議会】が、石神井地域のまちづくりについて、1年6ヶ月かけて協議し、区長に【提言書】を提出した。

1. 交通問題、2. 土地利用、3. まちの活性化、4. 地域コミュニティであった。この「まちづくりの全体構想」を基に現在も進められている。

それから石神井のまちの交通問題では、西武池袋線の連続立体交差化事業で開かずの踏切が解消され、人と車の南北交通がスムーズになった。

しかも複々線化と東急東横線及び有楽町線との相互乗り入れで大変便利になっている。

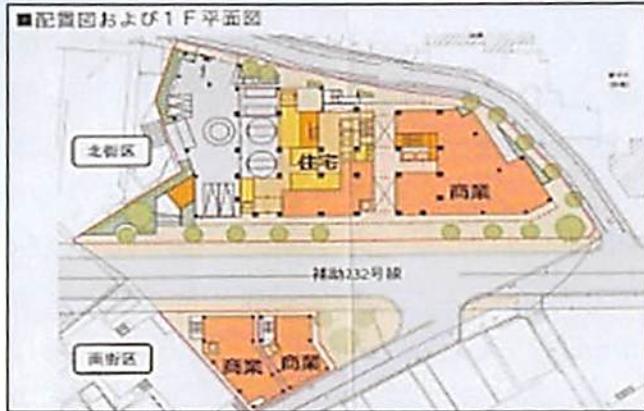
ただ、池袋線の高架化と複々線化事業で交通は大変便利になったが、駅周辺の整備は別として、石神井のまちづくりは、他の都市に比べて都市整備が遅れている。

長い間の議論の末、解体着工が始まる

石神井公園駅南口西地区のまちづくりについて、東京都都市計画 石神井公園駅南口西地区第一種市街地再開発事業が再開発組合施工で提案され、練馬区、地権者、地域住民を交えて、高層ビルの是非について、長期間に亘って議論され、賛否両論があった。人口が減少している時、また補助幹線道路132号線の開通で商店街内の錯綜していた道路が解消された今、15mの大型道路が必要か、更に高さ100m・26階建て高層ビルが必要かと、大きな議論を呼んだ。



再開発で、高さ100m・26階建て高層ビル



▲ 石神井公園駅前再開発ビル計画の平面図

果たして地域の活性化に繋がるか

新しく出来る再開発事業の北街区は、高さ100m・26階建て、地下に駐車場・駐輪場、地上1～2階に店舗、3～5階に公共施設で、石神井庁舎の一部が入り、6階～26階は住宅になっている。南街区は、高さ35m・9階建て、地上1～2階は店舗、3～5階は事務所、6～9階は住宅となっている。

12月7日と9日地元説明会が行われた。再開発事業の工事に当たっては、景観を考慮した壁面デザインや風害を最小限に願いたい。

この再開発事業が石神井のまちづくりに、どう影響するのか、また、まちの賑わいをどう創出するのかが、今後の大きな課題となるであろう。

(下河秀行)

駅前高層ビル



石神井公園商店街の【新春餅つき大会】



◎とき 2024年1月9日(祝・成人の日)午前10時～お餅がなくなるまで

◎ところ 石神井公園商店街 銀座通り「ふれあい広場」

◎内容 おもちの販売・出囃子や獅子舞も行います。
今年も石神井公園商店街へ是非お出かけ下さい。

主催 石神井公園商店街振興組合

[知られる練馬の歴史シリーズ15] 豊島一族滅亡後の石神井と太田道灌

1477(文明9)年4月13日、江古田原合戦で豊島一族に勝利した江戸城主・太田道灌は、さらに21日(または28日)には石神井城を攻め落とし、城主の勘解由左衛門尉を敗走させた。勘解由左衛門尉は約9か月後に平塚城(現・北区)で再蜂起するが、道灌進軍の知らせを聞いて再度逃亡、以後は行方不明となる。そして、これにより豊島氏本宗家は滅亡することとなった。

戦後、新たな練馬の支配者となった道灌は、布陣した城山(現・早稲田高等学院)に戦勝を祈願して祀っていた愛宕社をそのまま残す一方で、小仲原(現・石神井公園都立野球場B)にあった三宝寺を、西約500メートルの現在地に移した。その意図は不明で、一説には豊島方戦没者供養のためとされるが、実際は城主居館の破壊・占領であったともみられている。なお、同時期、道灌が豊島氏菩提寺の道場寺は焼き払ったとされているのに対し、三宝寺を保護している点は注目されるが、同寺は鎌倉大樂寺の権大僧都幸尊法印が創建している寺院であるだけに、同じ鎌倉に拠点を持つ道灌とは何らかの関係があったとも考えられそうである。ちなみに、道灌はその後觀藏院など、三宝寺塔頭の複数寺院も田中(現・南田中)の地に移したとされる。

また合戦後、道灌は戦いの際に協力してくれた村民に「御祝儀」として土地を与えており、その地は以後「御祝儀山」(現・上石神井4丁目)と呼ばれるようになったという。付近には今もその名を採ったマンション「グレードハイツ祝儀山」が建っており、以前にはその南側に「祝儀山ちびっこ広場」なども

設けられていた(現在は閉場)。そのほか、道灌は自分に従って石神井城を攻め落とした村民を田中(現・南田中)の地に入植させたと伝えられており、これが「田中十家」の始まりだったとされる。その筆頭家の「榎本家」は江戸期に名主を務めており、本家には今も長屋門が残されている。

なお、道灌に従って豊島一族を攻略した武将の中で、最も功績が大きかったのは千葉自胤で、その一族の栗原氏には石神



▲道灌配下の末裔と伝わる
栗原家の長屋門

井一帯の土地が与えられることになったという。これが今に続く石神井栗原氏の始まりといわれ、その本家は江戸期に名主、近代に入ってからも村長も務めている。今も石神井城址の東側には、栗原本家が存在しており、その南側には明治初期の長屋門が残る。そして大正期に石神井村村長となった栗原鉄三は武蔵野鉄道開通以降、石神井の観光開発に尽力し、私有地であった三宝寺池周辺一帯を村の発展のため安価で貸し出し、旅館や料亭・茶店などを誘致した。さらに日本初の100メートルプール(府立第四公衆遊泳場)、人工滝などを設けさせており、これらがのちの「石神井公園」成立・発展の基礎となったのである。

このように歴史は、遙か戦国の時代から現在に至るまでも途切れることなく続いている。もちろん歴史に「if」が無いのは承知の上だが、もし道灌が石神井城を攻略していなければ、石神井公園や南田中の風景も、あるいは今とは全く異なるものになっていたかもしれない。

文/写真・葛城明彦(郷土史家)



▲道灌が村民に与えたとされる
御祝儀山

安心・安全をサービスにおもてなし
石神井公園 旧西友通り また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

全26基、LED街路灯に建て替え更に街が明るくなりました。



ちひろ美術館セレクション 2010→2021 日本の絵本展

2023年10月7日（土）～2024年1月14日（日）
ちひろ美術館・東京 展示室1・2

2010年代を彩る傑出した日本の絵本30冊の原画が
一堂に会する展覧会

2011年の東日本大震災から始まった激動の2010年代。子どもを取り巻く環境も大きく変化しました。

ちひろ美術館では、10年ごとに時代を代表する絵本を紹介する展覧会を継続しており、今回は4回目となります。3年の延期を経て開催する本展覧会では、時代に求められた多様な表現に焦点をあて、2010年から2021年に出版された作品のなかから、注目を集めた絵本や、今後も活躍が期待される作家の作品を紹介します。



出久根育『かえでの葉っぱ』(理論社)より 2012年



植田真『ひばりに』
(アリス館)より 2021年



tupera tupera『わくせいキャベジ動物図鑑』(アリス館)より 2016年



酒井駒子『まばたき』
(岩崎書店)より 2014年



三浦太郎『ちいさなおうさま』
(偕成社)より 2010年



上村亮太『アネモネ戦争』
(BL出版)より 2020年

いわさきちひろ やさしさと美しさと

ちひろ美術館・東京 展示室3・4

約40点 ※展示室4では、ピエゾグラフによる展示を行います。

ちひろの描きたいと思ったもの

いわさきちひろは、美しさややさしさを大切にし、絵本や絵に描きたいと思っていました。それらは、一体どのようなものだったのでしょうか。

ちひろがこの世を去って来年で50年になります。彼女の作品が現代に生きる私たちの心を今もとらえるとしたら、それは、彼女の描いた作品に、普遍的な価値や想いが込められているからなのかもしれません。ちひろの作品やことばから、彼女の描こうとしたやさしさと美しさを探ります。



ききょうと子どもたち 1967年

料金 大人1000円／18歳以下・高校生以下は無料
団体（有料入館者10名以上）、65歳以上、学生の方は800円／障害者手帳ご提示の方とその介添えの方（1名）は無料／年間パスポート3000円

私は私の絵本のなかで、いまの日本から失われたいいろいろなやさしさや、美しさを描こうと思っています。
それをこどもたちに送るのが私の生きがいです。

いわさきちひろ 1972年



赤い毛糸帽の女の子
『ゆきのひのたんじょうび』
(至光社)より 1972年



ゆびきりをする子ども 1966年



少年と母 1970年



「にじの はし」 1963年

○開館時間=10:00～17:00（最終入館は16:30まで）
○休館日=月曜日（祝休日の場合は開館、翌平日休館）

年末年始（12/28～1/1）

主催:ちひろ美術館

協力:BL出版、あかね書房、アリス館、岩崎書店、偕成社、くもん出版、講談社、小峰書店、集英社、スイッチ・パブリッシング、玉川大学出版部、童心社、福音館書店、ブロンズ新社、ボプラ社、理論社

後援:絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会

お問合せ 練馬区下石神井4-7-2 TEL03-3995-0612



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

※上記のイベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性がございます。最新情報につきましては、公式サイトをご覧いただけます。

※2024年1月15日（月）～2月末日は冬季休館となります。

● 診療科目 ●

- 内科
- 糖尿病内科
- リウマチ科
- 胃腸内科
- 循環器内科

菅原 医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

● 診療時間 ●

- | | | | |
|------|-----------------------------|------|--------------|
| ● 平日 | 午前9:00～12:30
午後3:30～7:00 | ● 土曜 | 午前9:00～12:00 |
|------|-----------------------------|------|--------------|

休診日:水曜/日曜/祝日



練馬区石神井町3-9-16

石神井まちづくり 新春

みどり豊かな都立石神井公園は、三宝寺池と石神井池からなり、武蔵野の面影を残し、野鳥や生物の宝庫でもあり、区外からの観光客も絶えない。今この石神井の街は大きく変わろうとしている。錯綜していた石神井商店街内の危険なバス道路も補助幹線道路132号線の完成により、バス交通が132号線に移動し、大幅に改善されて歩行者は安心してお買い物が出来るようになった。それに加え、新たに石神井公園駅南口西地区に幅15mの新設道路や高さ100m・26階建ての再開発事業が今年からスタートしようとしている。これからの石神井のまちづくりは、どう変わらのか市民として見逃せない。（司会者 下河秀行）

Q. 石神井まちの現況について

小川 美千江：石神井公園商店街振興組合は、今年駅前の再開発が始まっています。



西街区に高さ26階と東街区に9階のツインタワーが建ち、このまちの顔になります。長年に亘る建築工事に当っては、安心・安全を目指して、事故がないようにして欲しいですね。

松村 敏夫：新春の話題として如何なものかと思いますが当商店街では「西友」の閉店・撤退が少なからぬ話題になっています。閉店後の復帰はないとのことで商店会の名称変更を全会員の投票により石神井町二丁目商店会と決定。各方面への通知に追われておりました。事を同じくして老朽化した街路灯の建て替えも慌ただしく完了したところです。



本橋 健吉郎：西武池袋線石神井公園駅を挟み、北側に関しては道路拡張・電柱地下化が完了し、交通の流れや歩道の整備で安全性がました。相反することであるが、関越練馬インターへ向かう車で交通量が増加している。南側に関しても道路が整備され石神井公園への散策がよくなつた。



葛城 明彦：開発が進む中、交通面を含めて「便利になった」と言わていますが、一方で「温かみが薄れた」といった声もよく聞かれます。環境問題に配慮しつつ、昔ながらの良さも大切にしていって貰いたいですね。



Q. 石神井まちの活性化について

小川美千江：お買い物の便利さと緑に囲まれたのどかさがアンサンブルしてどちらも楽しめる街だと思います。また、いろいろなイベントの企画もあり楽しみもあります。

松村 敏夫：新設街路灯の完成を機に更なる商店街の魅力を目指しておりましたが「西友」の取り壊し、その後の住宅マンションの工事着工など当面の活動の機会を削がれた形です。目下各会員は、独自性を持って全体を盛り上げておりますが面的な一部を欠き、現在の空地の今後を考えると将来的活性化を今から考えているところです。

練馬西の拠点都市として、石神井公園商店街の歴史は古く、明治時代から活気あふれる商店街として賑わいづくりに取り組んでいる。

石神井公園商店街振興組合は駅前通り・銀座通り・公園通り・庁舎通りから構成されており『パークロード石神井』の商店街内は132号線の開通で、現在は安心して買物が出来るようになった。



▲明るい石神井公園駅と駅前広場



～地域文化の交流点～ 観藏院曼荼羅美術館

開館時間/土・日曜日 10:00 ~ 16:00

東京都練馬区南田中4-15-24

TEL3996-6858 FAX3996-6878

<https://kanzouin.wixsite.com/mandala>



紙上座談会 地元有志が大いに語る！

本橋健吉郎：南口西地区市街地再開発や、「西友」解体により各商店街では、人の流れが変わる。商店街に人が集まることがまちの活性化につながる。イベント等開催し、人を呼び込んで欲しい。

葛城 明彦：「照姫まつり」も昨年で36回目を迎えていましたが、「毎年恒例の一」というだけでなく、もうひと工夫欲しい気がします。石神井公園ふるさと文化館にしても、まだ十分機能しているとはいえないでしょう。さらに地域の人々を活用し、結びつきを強固にしていく必要があると思います。

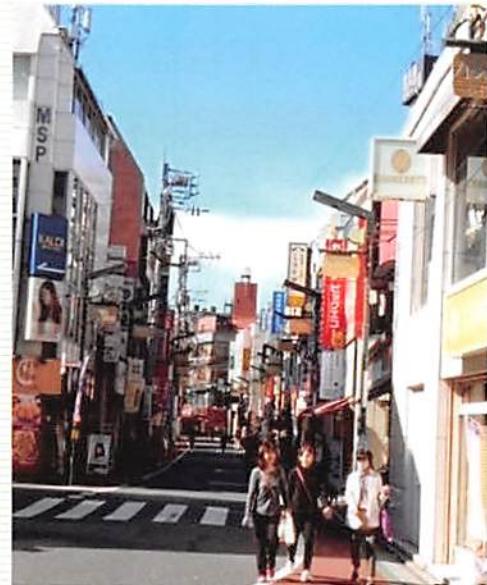
Q. 石神井まちの将来展望は…

小川美千江：石神井公園を通して、人と人とのつながり、子どもたちを通してつながりが広がっていけばと思います。公園のそばにある街ではなく、公園と一体化した街、街体自が公園なんだと言う街になっていきたい。

松村 敏夫：駅前や団地道路の拡幅整備も進み、更に、新設道路計画が活路となっており、加えて老朽化した建物の建て替えの動きも見られております。まちの活性化を目指しての事業実施でしょうが、住環境や利便性、人口増に伴う小学校を含めたインフラ整備などをバランスの取れたまちづくりが進むのではないか。

本橋健吉郎：10年ひと昔と言われましたが最近は2~3年で、まち並みが変貌しています。農地の減少に伴い緑が薄れていく…住宅やマンション建設によって、まちの人も新しくなるのは結構ですが、住みやすい人にやさしい石神井になって欲しい。まちが新しくなっても、昔からの“石神井”的良さは残し、子供たちが住んで良かったと思える、まちになることを希望する。

葛城 明彦：石神井は自然も豊かで、さまざまな歴史のある街ですが、まだそれは十分理解されていないように感じられます。この先、多くの人々が学びを進め、その価値がさらに認識されるようになっていくといいですね。



▲電柱が地中化され綺麗になった商店街

【新春紙上座談会 出席者】

石神井商店街 理事長 小川美千江様

石神井二丁目商店会会长 松村敏夫様

和田町会 会長 本橋健吉郎様

郷土史家 葛城 明彦様

石神井まちづくりの会 代表 下河 秀行

【座談会を終えて】 ご参加の皆さまは、石神井のまちをこよなく愛されており、住みよいまちづくりに日々から熱心に取り組んでおられることが伝わってきました。人口75万人の練馬区は、鉄道の相互乗り入れで都心にも近くて利便性もよく、みどりが豊かなところもあります。これからは文化や芸術などの施設にも積極的に取り組んでいただきたい。そのためには、築53年で老朽化した【石神井庁舎】を早期に改築して、その中に大集会・講演会・いろいろなジャンルコンサートが出来る【石神井文化ホール】を是非創って欲しいものです。それが、石神井地域の活性化に繋がることは間違ひありません。



K's TRUST

石神井公園駅そばにある創業53年、総合保険代理店です。
皆様が安心して生活できるよう保険でサポートいたします。

株式会社 K's トラスト

〒177-0041 練馬区石神井町3-25-8 橋本ビル2階

FAX 03-5923-7776

e-mail info@ks-trust.net

《取扱保険会社》

三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上あいおい生命保険株式会社・東京海上日動あんしん生命保険株式会社・ジブラルタ生命保険株式会社





2015年国連で採択されたSDGs(開発目標)について国連で採択された。【SDGs】④は、質の高い教育をみんなに…すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。また、⑤男女平等のジェンダー平等を実現しようをテーマとする勤労福祉会館の【SDGs】(持続可能な開発目標)の取り組みについて、今回は勤労福祉会館 館長 稲富和仁氏にインタビューした。

【目標は、大きく分けて17項目に分かれている】

Q1. 勤労福祉会館とは また、その特徴は？

A. 勤労福祉会館は昭和60年8月1日にオープンしました。昭和22年8月1日の練馬区の誕生から、38年後のことでした。そして、昨年8月で開設してから38年経っています。練馬区の歴史の半分以上の間、区民の皆様に親しまれてきました。

勤労福祉会館条例では、「主として中小企業に働く勤労者の文化・教養および福祉の向上を図ること」が設置の目的とされています。

働く方々や働きたい方々が、会議室などを利用して様々な活動を行われるほか、館の主催事業として、働き方改革講座や労働法講座、就労支援講座、春闘期の情勢講座、簿記3級講座、経営分析講座、パソコン講座など、働くことに直接役立つ講座を開催しています。

また、区民の方を対象に、福祉の向上を図るためのライフプラン講座、健康生きがい講座、元気はつらつ生活講座、各種料理教室、エアロビクス教室、太極拳教室などを開催しています。

Q2. 当会館のSDGsの取り組みは？

A. SDGsについては、まずSDGs①「貧困をなくそう」と、⑧「働きがいも経済成長も」に関して、未就労

者やより良い就職先を求めている方々のために、労働関係の講座や、就労やステップアップを実現するためのスキルアップを図る簿記3級講座等を実施しています。次に③「すべての人に健康と福祉」に関して、各種健康講座や料理教室を開催するほか、トレーニング室を用意し、健康の増進を図り、区の福祉施策に協力するなど福祉の向上に努めています。

また、
⑤「ジェンダー平等を実現しよう」について、女性の活動を少しでも容易にするため、授乳室を設置し、安心して利用できる環境を整備しました。そこには、可愛らしい飾りつけを施しており、泣いていた赤ちゃんが泣き止んで喜ぶほどで、お母さん方にも好評です。勤労福祉会館では、以上のような取り組みを行っております。



▲勤労福祉会館の安らぎの授乳室

今後とも、SDGsの実現に役立てるよう努めて参ります。皆様もどうぞご活用ください。



お葬儀に関する事なら何でもお相談ください

24時間
安心ダイヤル

フリーダイヤル
0120

ヨイセレモニー
0120-41-7062

感謝のセレモニー マキノ祭典

■本社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040
■サロン：東大泉店・大泉学園町店・石神井公園駅前店・大泉学園駅前店・中野駅前店

マキノ祭典

検索

～練馬区の活動団体紹介～ その②

●これまでの歩み

認知症高齢者の急増（高齢者の5人に1人）に伴い、判断能力の衰えた人を支援する目的で2000（平成12）年に今の成年後見制度がスタートしました。この制度を円滑に運営するためには弁護士や司法書士などの専門職ばかりではなく、市民が市民を支える「市民後見人」の養成が必要とされ、こうした流れの中でNPO法人成年後見のぞみ会は10年前に設立されました。東京大学市民後見人養成講座第5期修了生が立ち上げたもので、当初はなじみの薄いこの制度の普及啓発活動に注力しましたが、10年間のうちに次のような活動にも領域を広げて主に高齢者のための事業を推進してきました。

●主な活動内容

(1)後見制度の普及啓発

当会発足以来の原点ともいべき普及啓発活動ですが、求めに応じて小規模な説明会や勉強会を開催しています（無料）。この種会合を希望される方はお申し出頂ければ、いつでもどこへでも出張いたします。

(2)講演会

毎年1回100人規模の講演会を開催しています。テーマは「健康関連」と「後見関連」のいずれかを取り上げています。次回は来年2月10日（土）に「高齢社会のパスポート 成年後見まるわかり」を予定しています。



練馬ジャズ教室「えーる」と「生涯学習センター」で開催。ジャズをご一緒に楽しく歌いませんか？会員募集！

◎日時：原則として毎月第1・第3月曜日午前10時15分～11時45分 ◎ところ：男女共同参画センター えーる 視聴覚室

◎日時：原則として毎月第2・第3土曜日午前10時15分～11時45分 ◎ところ：生涯学習センター 第1教室&第3教室

◎講師：矢作木の実先生（ジャズピアニスト＆ヴォーカリスト） ◎入会金：4,000円 ◎会費：5,000円

練馬ジャズを楽しむ会 ☎080-6607-4321 & e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp 講師：矢作090-8315-0030

[NPO成年後見のぞみ会]

(3)後見人講習会

親など親族のケアをする「親族後見人」や市民後見人を志す人を対象に年1回、4日間コース（基礎、応用各2日）の後見人講習会を開催しています。毎回10～15名程度の方々に受講して頂き好評を博しています。



(4)任意後見契約、死後事務委任契約

将来認知症などで判断能力が衰える場合に備え、「転ばぬ先の杖」としての任意後見制度があります。

またいわゆる「おひとり様」が自分の死後の始末を任せたいとのニーズがあります。これらに対応するため「任意後見契約」、「死後事務委任契約」等の要請に応じています。なお、当会のホームページでは、活動状況を掲載しておりますのでご覧ください。またなにか相談事等あれば、いつでもお気軽にお問合せください。

成年後見のぞみ会 理事長 照山忠利

❖ホームページ <http://www.kouken-nozomi.org/>

❖e-mail info@kouken-nozomi.org

ねりまシニアネットワーク楽友会主催「ねりまシニアライフ講座」が開催

日本は世界有数の超高齢化社会である。この高齢化社会でどう生きていくのかが大きな課題となっている。そこで、令和5年10月15日 石神井庁舎5階で「ねりまシニアライフ講座」を企画して実施した。

講 演：第一部:【人生100年時代をどう生きる&私のセカンドライフ】

講 師：NSN ねりまシニアネットワーク 楽友会 会長 下河 秀行

第二部:終 活【人生100年時代=人生最後の仕舞い方】

講 師:(株)まきの 石神井公園駅前支店 支店長 好永章二



練馬シャンソンを楽しむ会 第9回【練馬シャンソン教室発表会】

令和5年10月27日大泉学園駅「ゆめりあホール」本場フランスのシャンソン、想い出の映画音楽など人生の想いを歌に込めて歌った。

◎と き：令和5年10月27日 ◎ところ：ゆめりあホール

◎出 演：第1部 シャンソン教室生徒による発表会

第2部 練馬シャンソン教室 会員と講師

ピアノ清水智子と、アコーディオン マツオカ利休演奏で
シャンソンの名曲を楽しんだ。



練馬ジャズを楽しむ会 【第7回 練馬ジャズ教室発表会】終わる

練馬ジャズ教室発表会練馬ジャズ教室は開設し今年9年目を迎えた。

本場アメリカのジャズや映画音楽など人生の想いを歌に込めて歌いました。

◎と き：令和5年11月3日 ◎開場:12時30分 ◎開演1時～4時

◎ところ：JR高円寺駅南口中野駅側へ徒步5分 【スタジオ K】

◎出 演：練馬ジャズ教室 生徒による発表会 ♪ピアノ／矢作木の実



～全国都市農業フェスティバルが盛大に開催された～



練馬区の観光事業で特筆されるのは、春の【照姫まつり】と秋の【練馬まつり】であるが、令和元年には【世界都市農業サミット】練馬駅前のココネリを中心に開催されており、昨年11月19日には【全国都市農業フェスティバル】が東京都立光が丘で盛大に開催された。秋晴れの好天に恵まれて朝早くから36,000人の大変な人出があった。当日は、都市農業で遠くは広島市、高知県、神戸市、大阪市、京都市、名古屋市などの遠隔地からの出店があり、豊富な農産物が並び、消費者にとって大変楽しみな【全国都市農業フェスティバル】となり、数多くの【完売お礼】の表示がしてあった。

(下河秀行)

Shimizu Dental Clinic

シミズ デンタル クリニック
歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外
練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階
石神井パークロード商店街 銀座通り
診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜
お昼休み 13:00～14:00
日曜 祝祭日 年末年始 休診
03-6913-3517
<https://firstmolar.jp/>

～お知らせ～
当院では、**歯科訪問診療**を行っています

クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで
ご家庭や施設など限られた環境でも
経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応

みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします

どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください

院長 清水 雄一郎

石 神 井
まちづくりの会

ご意見等は、**電信**&**FAX**、又は左下の**e-mail**へ送信してください。

TEL & FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え～る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にあります。